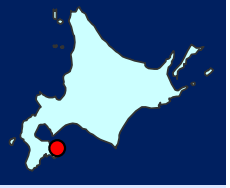
第3種 臼尻漁港
（北海道函館市）

臼尻（うすじり）地区特定漁港漁場整備事業計画

渡島東部圏域
流通拠点



函館（臼尻）地域マリンビジョン策定（推進地域）

現状と課題

・漁獲が増加する暖海性魚類は、長時間の野天での陸揚げ・荷さばき作業、一時保管を余儀なくされており、鮮度低下や異物混入が課題である。
・地震・津波発生時における陸揚げ機能の確保、避難路の確保が課題である。
・コンブ漁業において係留施設の不足による前浜利用、船揚場での船揚げ待ちなど、非効率な作業状況にある。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：170隻
利用漁船：198隻
（内、外来漁船：39隻）
属地陸揚量：9，849トン
属地陸揚金額：18．6億円
主な魚種：マイワシ、コンブ類
組合員数：125人

◎臼尻漁港の役割

・道内外のイカ釣り漁業、大型定置網漁業、スケトウダラ刺網漁業等の沿岸漁業及びコンブ養殖漁業の流通拠点

主　要　対　策

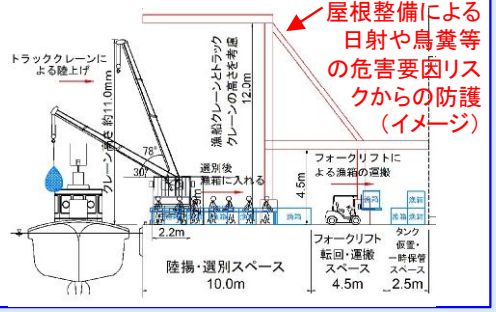
主な整備方針

・陸揚げ後の温度上昇や異物混入による水産物の品質低下を防ぎ、地域の作業形態と連携した衛生管理に対応するため、陸揚岸壁を屋根付き岸壁として整備する。
・発災後における水産業の早期再開を可能とする体制を確保するため、主要な陸揚岸壁及び防波堤の耐震・耐津波性能の強化を図るとともに、津波に対する背後地域の防災対策強化のため、避難階段等を付加した臨港道路を整備する。
・コンブ漁業の作業効率化を図るため、コンブ漁船が利用する岸壁や船揚場等の整備を行う。

基本事項

全体事業費：57．9億円
事業期間：R3～R12

主要な対策①：衛生管理対策



主要な対策②：防災対策